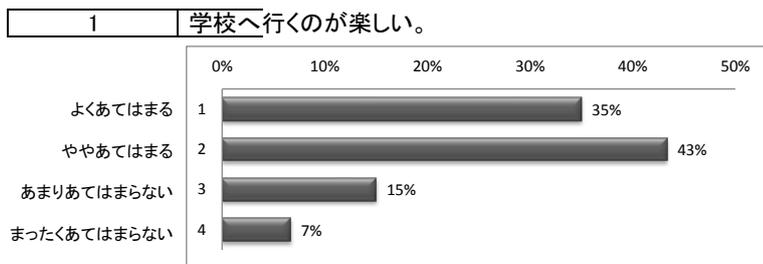


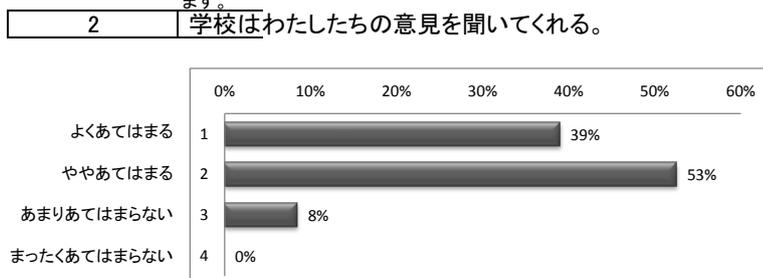
# 平成27年度 児童アンケート集計表

4年生以上の児童にアンケートをとったものです。数字は回答した児童数です。

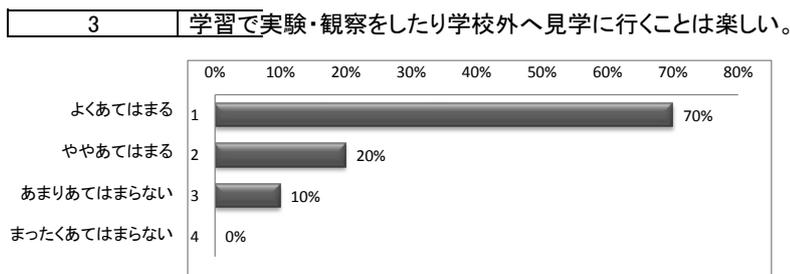
赤阪小学校



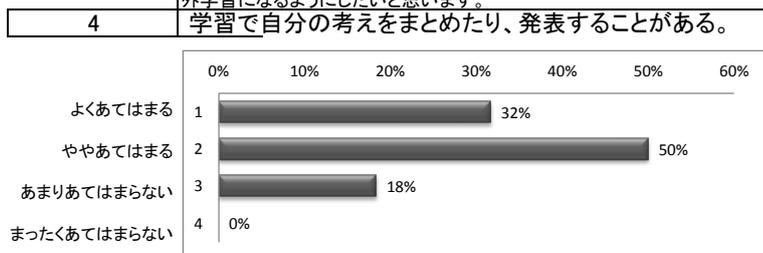
毎日通学する子供たちにとって、学校へ行くのが楽しいというのは基本です。しかし、例えば休み明けの月曜日など、学校へ行きにくくなる子や日曜日の方がうれしいという子もいることでしょう。「あてはまらない」と答えている子が少しでも減るように、子供たちの気持ちを受け止めていきたいと思えます。



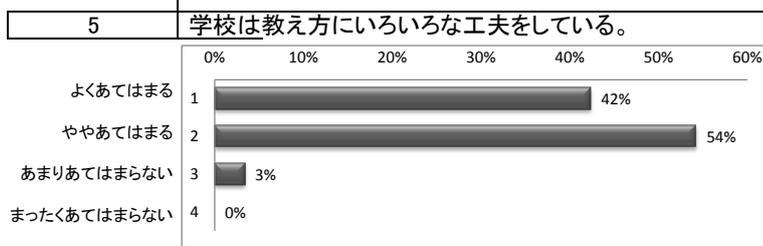
一人ひとりの意見を聞いて受け止めるようにしていますが、子供たちの意見を全て取り入れて聞くということもできません。「あまり当てはまらない」と答えた8%の子供の中には、納得できていないことがあったのかもしれない。



本校は、通学バスを利用してより多く社会見学などに出かける機会を多く持っています。ほとんどの子供が楽しいと思っているようですが、10%の子は学校にいる方がいいのかもしれない。気持ちを確かめて有意義な校外学習になるようにしたいと思います。

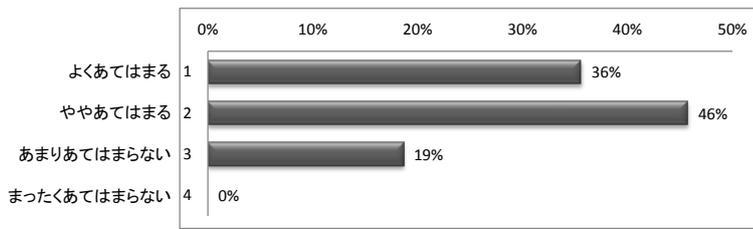


本校では「コミュニケーション能力の育成」に取り組んでいます。全校的な取組で効果も上がっています。でも発表や考え方をまとめるのが苦手な児童もいることは事実ですので引き続き取り組みを進めていきます。



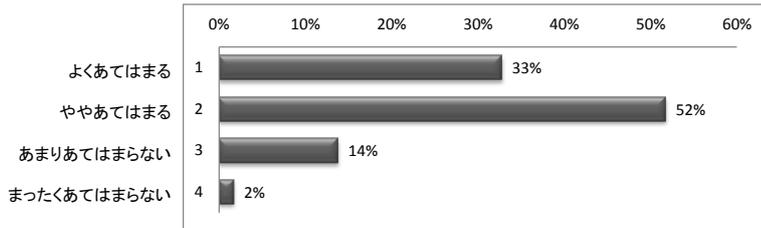
ほとんどの子供が、教え方の工夫を理解してもらっているようですが、3%の子供には伝わっていないようです。これからも指導の工夫改善を進めてまいります。

6 学習でわからないことについて、先生に質問しやすい。



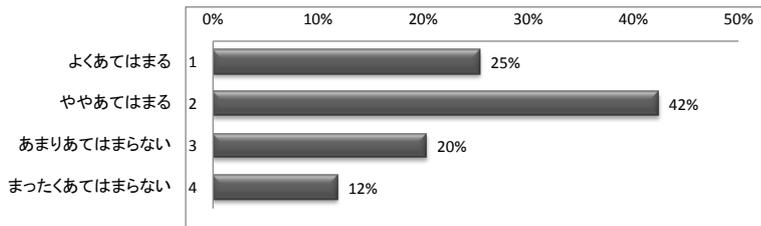
気軽に質問や発言する子供もいる反面、聞きたくても聞きにくい子供もいるようです。こちらからもそんな子供の気持ちを受け止めてわからないことはわからないと言えるように努めたいと思います。

7 学校は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。



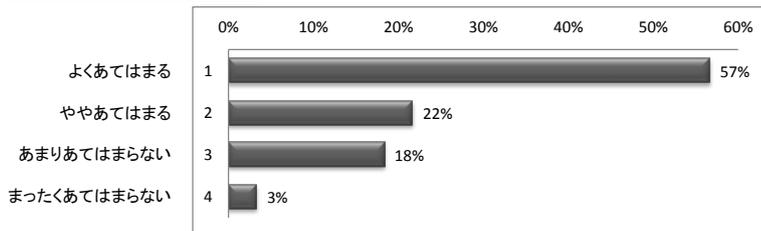
自分たちの努力を認めてもらえると思っている子供は85%です。教師も、一人ひとりの努力やよいところを認めて行きたいと常に思っています。あまりあてはまらないという子供が一人でも減るように、何とかして認めてあげたいと思います。

8 かけ足運動やなわとび集会にとりくんで、自分の体力がついてきたと思う。



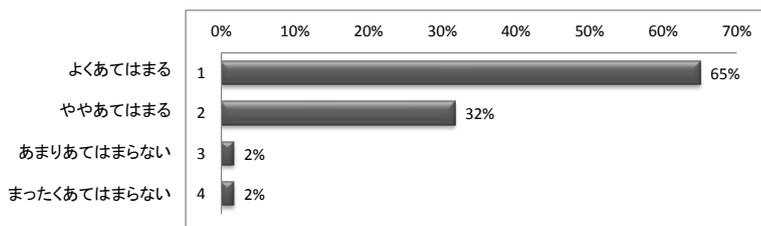
自分に体力がついたかどうかという設問ですので、32%の子供があまり体力はついていないと思っているようです。続けて運動することの大切さを理解させていきたいと思います。

9 ちがう学年と協力する「わんぱく班活動」は大切だと思う。



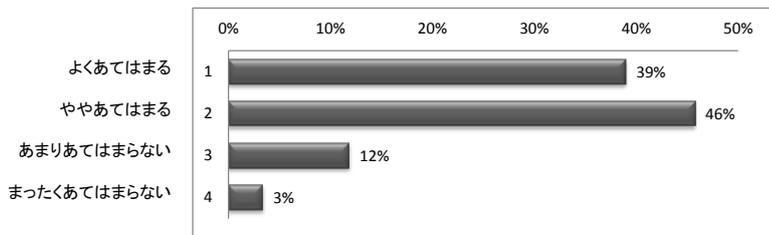
本校の特色として、異学年で班を編成し、給食や遊びなどの活動をしています。単学級でクラス替えのない本校には非常に大切な取組です。その大切さを理解させ、より楽しい活動になるように努力していきたいと思えます。

10 地震や火災などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている。



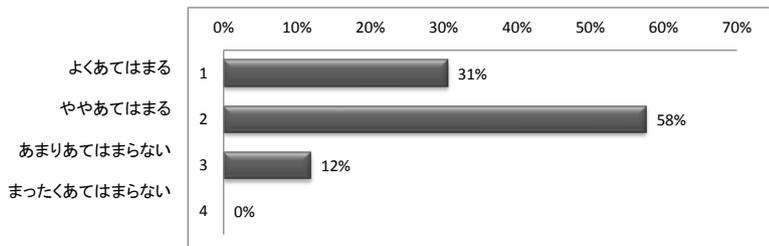
防災教育には力を入れ、防災士の方にも来ていただいたり、こごせ幼稚園と合同で行ったりと計画的に避難訓練も行っていきます。ほとんどの児童が肯定的評価をしていますが、当てはまらなないと答えた児童にもわかるように、防災の意識を日頃から持ち続けるようにしていきたいと思えます。

11 学習で大人になったときの職業(仕事)について考えることがある。



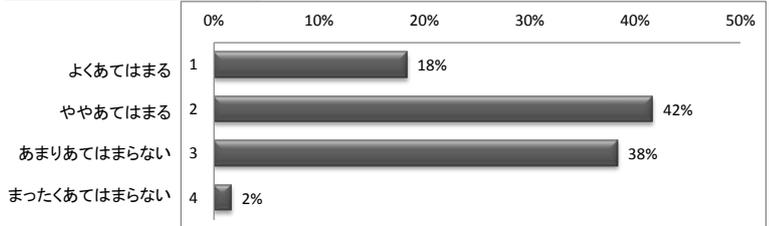
将来に夢やあこがれをもって、自分の生き方を考えることは大切なことです。あまり将来について考える機会のないという子供にもしっかりと将来を考えさせる取り組みを進めたいと思います。

12 学習で協力、奉仕(社会や人のためにつくす)、助け合いについて学ぶことがある。



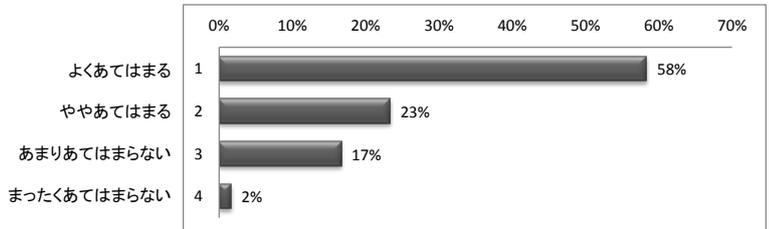
ボランティア体験学習や、勤労奉仕的活動は学校の中でいろいろな側面から取り組んでいます。9割の子供がその教育を理解していますが、1割の子供は、している意味が理解できにくいのかもしれません。努力を続けてまいります。

13 学級では友達やクラス・学校のことについてよく話し合う。



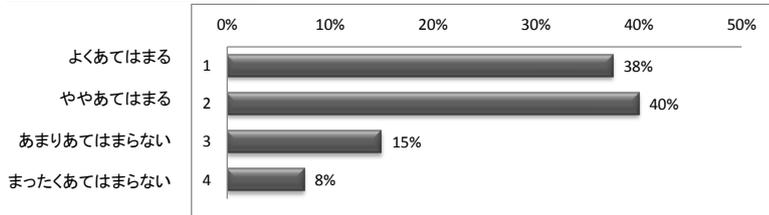
少人数のクラスですし、お互いによくわかった仲間の学級です。何かあれば話し合いで解決するようにしていますが、満足できていない子供もいるようです。この子の気持ちを受け止めて注意深く対応したいと思います。

14 運動会・校外学習などの学校行事は楽しい。

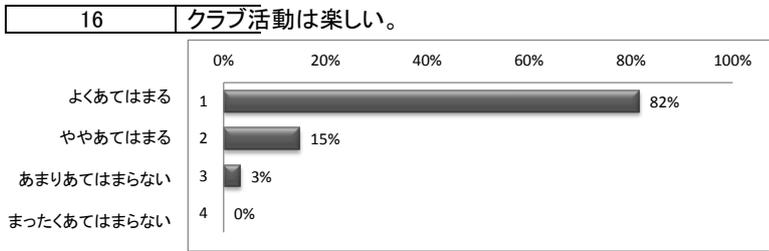


運動会や校外学習は楽しいものときめつけてはいけません。約2割の子供は、楽しいとは思っていないようです。気持ちを聞いてみたいと思います。

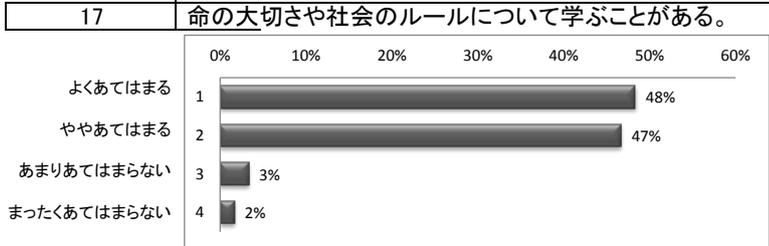
15 委員会活動はみんなの役に立っていてやりがいがある。(5・6年のみ)



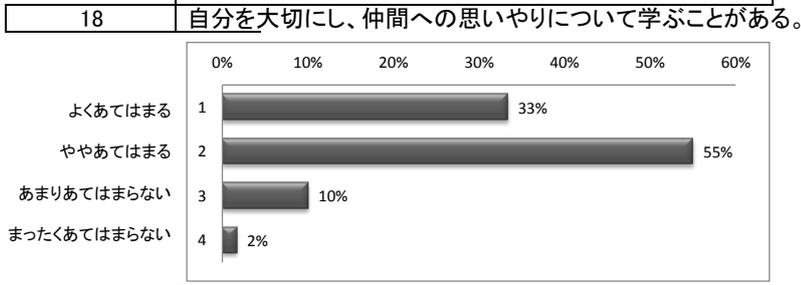
委員会活動は、学校生活をよりよくするために子供たち自主的に活動するものです。多くの子どもたちがやりがいを感じています。そう思わない子どもたちには活動を通して満足感が得られるように働きかけたいと思います。



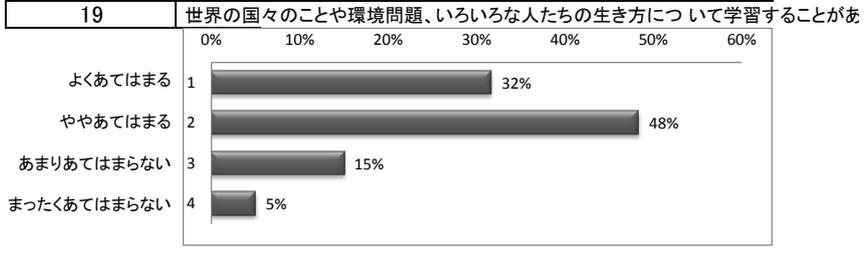
年間数回になってしまったクラブ活動ですが、ほとんどの子供たちが楽しいと感じています。3%の子供だけ、クラブがあまり楽しいとは感じていないようですが、自分たちで自主的に行うクラブ活動の楽しさを感じてくれたらと思います。



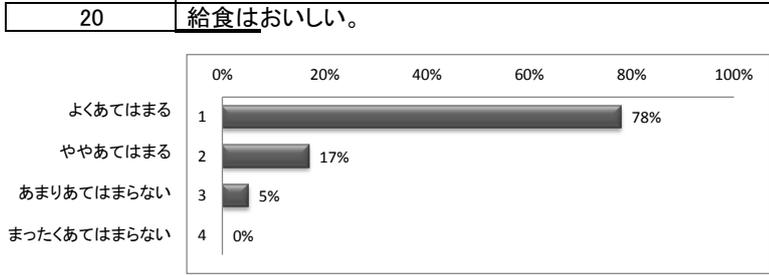
学校では、命の大切さや社会のルールについては、教育活動の中で大切にしている内容です。ほぼ全員が理解してくれているようですが、あまり当てはまらなないと答えた子供の気持ちを聞いてみたいと思います。



自分を大切にする「自尊感情の醸成」や仲間に対する「思いやり」など、日々の学校生活の中で大切にしていることです。ほとんどの子供が理解してくれているようですが、あまり当てはまらなと答えた約1割の子供の気持ちを聞いてみたいと思います。



本村は英語教育にも力を入れ、国際理解教育にも力を入れ、また総合的な学習の時間などを通して環境問題も学習する機会をとっています。8割の児童は理解してくれているようですが、あまりあてはまらなと答えた2割の児童の意識を高める努力を今後も続けていきたいと思っています。



本村の給食は、大阪府下で一番最後に実施された給食で、おいしいと評判の給食です。それでも、おいしいと思ってくれていない子供もいるようです。